

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀と財務省の積極的な介入姿勢を好感し、一時3.67台前半までレアルは反発したものの、引けにかけては徐々にレアル売りが優勢となり、3.71台前半で取引を終えた。中銀は8日の声明を踏まえ、昨日は5万枚(25億ドル相当)のスワップ入札を実施。また、Goldfajn中銀総裁とEduardo Guardia財務相は昨日、ブラジル金融システムについて議論すべく、Banco do Brasil・Itau・Bradesco・Santander・Caixaの各CEOに加え、Febraban(ブラジル銀行協会)会長を招集している。当局による介入で相場は落ち着きを取り戻しているが、レアルを取り巻く環境は依然として厳しい。中銀が昨日公表した週次サーベイ(FOCUS)では、年末の成長率見通しが前週の2.18%から1.94%へ大幅に下方修正された他、インフレ率(IPCA)見通しも3.65%から3.82%へ上方修正されている。ブラジル政府は今のところ経済に対する強気な見方を崩していないが、マーケットは足許のレアル安が早晚インフレ上昇を招き、それがインフレ期待を加速させることで、さらなる通貨安→経済成長の鈍化、という負の連鎖を引き起こすと警戒感を強めている。加えて、週末10日にFolha紙が公表したDatafolha社の最新世論調査では(Lula氏が不出馬の前提)、極右のJair Bolsonaro氏が19%と首位を維持している一方、マーケットフレンドリーな候補者として目されているAlckmin氏とMeirelles氏は揃って一桁台の支持率に沈むなど、(予想通りではあるが)肯定的とは言い難い結果が示されている。当局による介入も一時しのぎに過ぎず、トレント転換は難しい状況。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	6月8日	6月11日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,7091	3,7114	0,06%	3,09%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,54	29,65	0,37%	-2,40%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3652	4,3739	0,20%	1,72%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	109,55	110,03	0,44%	0,59%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	128,93	129,67	0,57%	-0,73%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		72.942	72.308	-0,87%	-15,15%	88.318	71.162
CDS Brazil 5yrs	bps		251,20	253,88	1,07%	37,31%	262,25	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		11,64	11,64	0,00%	15,59%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		7,34	7,19	-2,04%	13,86%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3263	2,3263	0,00%	-0,69%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		200,04	199,39	-0,32%	-2,05%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



<オムツマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。